

ネパール：ヒマラヤ山岳鑑賞トレッキング

◆日程 2016年11月1日(火)～11月8日(火)

◆メンバー L：河野、雫

11月1日(火)

11月1日 22:20 河野さんと羽田国際空港出発ロビー待ち合わせ。火曜日というのにフロアは中国人など多くの外国人で混雑していた。タイ航空カウンターでチェックインと荷物(20kgまで)を預ける。時間があるので飲食店フロアに行き江戸時代を思わせる街並みを見たり羽田日本橋(本物のように造られている)などで出発まで遊ばせてもらい、出国審査を済ませ搭乗口まで行く。(雫)



チャンドラコットの丘からアンナプルナサウス

11月2日(水)

11月2日 0:20、タイのバンコックへ向けて羽田を離陸。飛行機はタイ国際航空、B-747 ジャンボジェット機。機内は満席、ほとんどタイ人だ。水平飛行になるとすぐにサンドイッチと飲み物が出てきた。当然タイビールも頼んだ。2時間位うとうとすると早い朝食の時間となるフィッシュ or オムレツでフィッシュを頼む、朝だがタイビールを二人とも2本飲み良い気分となる。食べ終わると降下が始まりバンコクの街灯りが見えてくる。思ったより明るい。

バンコクスワンナプーム国際空港到着後広い空港を TG0319 目指し歩き、乗り継ぎ手続きし出発まで約5時間を空港内のお土産屋さんや飲食店を見て回ったりソファで仮眠する。バンコクの空は高く快晴、南国の臭いがする。空港内はランなどのお花がいっぱい飾ってあり綺麗であった。バンコックと日本の時差は2時間である。この時差でのちにハプニングが起こる。

バンコックからカトマンズへの飛行機もタイ国際航空 B-777 である。眠い目をこすりながら乗り込む。今回も席は窓側の良い席だ。乗客の国籍は白人、アラビア人、インド人、東洋人さまざま、日本人も少しいる。ほどなく機内食の時間となり今度はチキンを頼むもちろんタイビールも。美味しい。機内放送で本日はインドの大統領がネパール公式訪問のためカトマンズ空港着陸が遅れるとありヒマラヤ上空で8回40分ほど旋回してくれヒマラヤ遊覧時間が持ててラッキー。

カトマンズ トリブバン国際空港到着、入国審査、荷物受取り税関検査受けるが日本人と分かる顔パス状態。人でごったかえしている空港ロビーを出て初めてネパールの地に足を踏み入れた時は感動でした。税関出口から外へ出たところでガイドの「ラビンドラさん」と会い



左からアンナプルナサウス、アンナプルナI峰、マチャプチュレ

さっそくポカラへの飛行機（プロペラ機）に乗り込みポカラ移動。飛行機の窓からヒマラヤ絶景。ポカラ空港着陸し運転手つき貸切の車にてホテルへ移動後すぐにノーダラの丘へ車で向かう夕日に染まるマチャプチュレ（6993m）展望。これがヒマラヤかと再度感動する。その他にはアンナプルナⅠ峰（8091m）、Ⅱ峰（7937m）、Ⅲ峰（7556m）、Ⅳ峰（7525m）、ラムジュンヒマール（6986m）、マナスル（8157m）、ヒマールチュリ（7893m）などが神々しく聳えたっている。その日は高級ホテルポカラグランデで夕食し部屋に戻り旅の疲れがどっと出てアルコールも回り爆睡となるが・・・。（雫）

11月3日(木)

行動予定：早朝サランコットの丘(サンライズ鑑賞)～午前チャンドラコットの丘展望ハイキング～ポカラ市内観光(デビズホール、セティゴルジュ、ペワ湖バザール、山岳博物館)

ホテルポカラグランデのホテル(242号室)を8時53分に出発してサランコットの丘でアンナプルナ山群の雄大な山々を鑑賞、特にマチャプチュレがカッコよかった。コーヒーも頂いてよかったホテルで朝食後サンドラガイドに連れられ運転手のサントスの運転でチャンドラコットの丘で展望殆んど歩かないで絶景を楽しむ、昼食はペワ湖畔で優雅に食事、最高である、幸せ感は最高潮そして観光、山岳博物館ではエベレスト山岳の歴史を感じて日本の



フェワ湖に映るダウラギリ左とアンナプルナ

田部井さんもしっかり飾ってあつた。（河野）

11月4日(金)

(ポカラ～カンデ～オーストラリアンキャンプ～ダンプス)

今日もホテルの部屋の窓からは快晴の空に広がるヒマラヤの山々が良く見える。7時にホテルでバイキング朝食をとり簡単だが初めてのトレッキングへの準備をし、使わない荷物はホテルに預けて車にてカンデ村に向けて出発する。カンデ村登山口にはサーダー（登山ガイド）のディンディーさんが待っていて合流する。話を聞くと出身はシェルパ族、20歳でエベレストに登り24歳でヒマールチュリ



オーストラリアキャンプ地

に登り26歳でダウラギリに登ったそうだ。ヒマールチュリで日本人隊に同行した時に雪崩に合い日本人4人が無くなったと話していた。ラビンドルさんは日本語がペラペラであるがディンディーさんもカタコトではあるが日本語が通じて助かる。

なだらかな道を歩いていると広場で何やら集まってやっている。何をやっているかと聞くと登山隊の解散式とのことサーダーやシェルパ、ポーターにお礼の挨拶やチップをやっている

所とのことでした。上に登って行くと多くのトレkkerやポーターたちと出会う。皆力持ちだ、中には女性もいた。さすがに男性と比べると荷物は少ないが力持ちだ。コース途中には休憩所や売店もあり人気のトレッキングコースと分かる。ここは白人が多いが韓国人も多かった。

オーストラリアンキャンプに到着すると目の前に迫力あるアンナプルナ山群がバーと広がる。最高の景色だ。空の青さも深い青に見える。天気も良いのでゆっくり景色を楽しむ。その後昼食をとる。今回はネパール人が普段食べている食事にももらった。大皿に真ん中にお米のごはんで小鉢にカレーや肉や野菜、漬物、薄いナンのようなもの。美味しく頂く。もちろんエベレストビールも。

景色を堪能したあと下山にかかる。水牛がそこかしこに放されている。こんなてまじかに見るのは初めて。下山の途中で絶滅危惧種の「ハゲタカ」が飛んでいるのに出会う。ダンプスの村が見えてくる。あっという間に村に到着、今日の宿は「ダウラギリビューロッジ」。ここから見るマチャプチュレも最高。最高の景色を見ながら夕食をとり友と酒を酌み交わし最高の1日でした。(零)

11月5日(土)

行動予定：ダンプス～ポタナ～ピタン・デウラリ(往復) この日の宿(ダウラギリ・ビュー・ロッジ)ロッジ発 8:00 ダンプス村～グリーンビューロッジ 9:05 ポタナ 9:30 着 11:40 下山ポタナの宿泊兼食堂で昼食 12:20～13:53～ポタナキャンプ分岐 14:17～ロッジ着 14:46

ダウラギリ・ビューロッジで朝食を済ませるその前にラビンドラさんがテラスからヒマラヤを見ましょくと6時頃誘ってもらい朝日のアンナプルナ山群を観る。綺麗である最高この日が優いつける日となるロッジより今日歩く低い尾根が見える、登山道は歩きやすい道には牛、水牛の糞が



落ちている、植物も少し日本を思わせる植物があるがとにかく大きいダウラギリの山、アンナプルナの山々が大分近くに迫ってきた感じと今の気温などがたまらなくよかった。(河野)

11月6日(日)

(ダンプス～フィディ～ポカラ～カトマンズ)

朝、ダウラギリビューロッジから窓の外を見ると今日も快晴でマチャプチュレが良く見える。太陽がゆっくりと出てくる。ロッジで朝食をとり出発の支度をする。このロッジも景色は最高で快適に過ごせました。今日はフィディ村まで歩きそこから車でポカラへ行き預けてあった荷物を受け取りポカラ空港からカトマンズまで行く計画だ。



エベレスト方向から朝日が昇る

フィディまでの道はほとんどが歩き易い石畳、石段。途中で見たかった「ヒマラヤ桜」が咲いていてびっくりと感動。ダンプスも犬、猫、鶏、牛がたくさんいる、そして馬ものんびり草

を食べていた。石畳、石段をいやっというほど降りる途中途中に菩提樹の大きな木がありそこが休憩所になっている。菩提樹には生命力を高める効果があると話していた。さらに下って行くとフェディ村が見えてきた。のどかな山村の風景だ。

そこからサントス運転の車にてポカラグランデホテルまで行く。ホテルで着替えをして預けていた荷物を受け取り車にてポカラ空港まで行く。そこで3日間運転をお世話になったサントスと愛車フォードとお別れし一路カトマンズへ。カトマンズトリブバン国際空港へ着くと遅い昼食に日本そば屋「ヒマラヤそば店」へ行く。おしゃれな建物でお蕎麦、お米などの原材料は日本から取り寄せているとのこと美味しかった。当然ビールも飲む。ここのビールは「カールスバーグ」。美味しい。河野さんは良い飲みっぷりだ。そのあとは古都パタン観光でダルバール広場、旧王宮、ゴールデンテンプル等を見て夕食は民族踊りが見れるネパール料理レストランへ行く。河野さんはアルコール度数の強い地酒を美味しく飲んでいた。



しゃれたヒマラヤそば店

料理、お酒、民族踊りに満足したあとホテルへ向かう道路は車とバイクと人で大渋滞だ。信号は停電で点いていない。すごく怖いがうまく皆運転している交差点の右折は特に恐ろしい。事故は少ないというのが信じられない。今日のホテルハイアットリージェンシーも高級ホテルできれいだ。明日のヒマラヤエベレスト遊覧飛行を夢見て快適な眠りについた。 (雫)

11月7日(月)

行動予定：朝ヒマラヤ・エベレスト方面遊覧飛行 7:40～8:23

今回の旅行の目玉である遊覧飛行がいよいよ今日実現すると思うとわくわくした、国内線の空港にガイド、ラビンドラさんがハイアットリージェンシーカトマンズホテルに迎えに来てくれブッタエア航空機でフライトする。出発時間が遅れた、なぜかとゆうと前の飛行機のメンバーが時間どおり揃わなかったようである。機



コックピットから

体も3機とかであるためである。席は後ろのほうでラビンドラさんがいい席をとってくれたようである、全員で40名くらいいたかと思う。全員窓側に座るそしてエベレストが近づいてくると順番にコックピットに誘導してくれて世界最高峰エベレストをガラス越しではあるがはっきりと肉眼で観られて最高だった。無事遊覧飛行が終わり14時55分カトマンズ空港よりスワンナプーム国際航空バンコックに着いた。カトマンズ空港の見送りでラビンドラさんが最後まで見送ってくれたのが印象的であった。 (河野)



エベレスト(中央)とロツエ

11月8日(火)

カトマンズ～バンコク～羽田



ヒマラヤともお別れ



ネパールともお別れ。また来ます。

総括：まず零さんに感謝いたします。有難うございました。また近いうちに訪れたいと二人とも思いました。今度は4000mくらいを登りたいと夢見ました。ヒマラヤ、カトマンズ、ポカラ有難う。 (河野)

以上